

基礎看護学（健康科学領域）

1 構 成 員

	平成 26 年 3 月 31 日現在
教授	3 人
准教授	0 人
講師（うち病院籍）	0 人（ 0 人）
助教（うち病院籍）	1 人（ 0 人）
助手（うち病院籍）	0 人（ 0 人）
医員	0 人
研修医	0 人
特別研究員	0 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人（ 0 人）
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技術職員（教務職員を含む）	1 人
その他（技術補佐員等）	0 人
合計	5 人

2 教員の異動状況

渡邊 泰秀（教授）(H14.6.1～現職)

三浦 克敏（教授）(H18.4.1～現職)

永田 年（教授）(H18.4.1～現職)

山下 寛奈（助教）(H17.10.1～19.3.31 助手；19.4.1～現職)

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 25 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	5 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	7.70
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	2 編
そのインパクトファクターの合計	11.40
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編（0 編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	2 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	1.55

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Miura K, Mineta H: Histological evaluation of thyroid lesions using a scanning acoustic microscope. Pathology & Laboratory Medicine International, 2014; 6:1-9.
2. Miura K, Yamamoto S: Histological imaging of gastric tumors by scanning acoustic microscope. British Journal of Applied Science & Technology, 2014; 4(1):1-17.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Seto S, Sugaya K, Tsujimura K, Nagata T, Horii T, Koide Y: Rab39a interacts with phosphatidyl-inositol 3-kinase and negatively regulates autophagy induced by lipopolysaccharide stimulation in macrophages. PLoS One, 2013; 8 (12): e83324. [3.73]
2. Hozumi H, Tsujimura K, Yamamura Y, Seto S, Uchijima M, Nagata T, Miwa S, Hayakawa H, Fujisawa T, Hashimoto D, Inui N, Suda T, Chida K, Koide Y: Immunogenicity of dormancy-related antigens in individuals infected with *Mycobacterium tuberculosis* in Japan. The International Journal of Tuberculosis and Lung Disease, 2013; 17 (6): 818-824. [2.61]
3. Nasu H, Ikeda A, Ogura H, Teruya C, Koizumi K, Kinoshita M, Tsuchida T, Baba S, Miura K, Takehara Y, Sakahara H: Two cases of diabetic mastopathy: MR imaging and pathological correlation. Breast Cancer, 2012; Sep. 14, [1.36]

インパクトファクターの小計

[7.70]

（２－１）論文形式のプロシーディングズ

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Miura K, Yamamoto S: Scanning acoustic microscopy for characterization of gastric lesions. The FASEB Journal, 2013; 27: 1087.5. [5.70]
2. Watanabe Y, Kimura J: The Inhibitory Effect of Cibezone on $\text{Na}^+/\text{Ca}^{2+}$ Exchange Current in Cardiac Myocytes. The FASEB Journal, 2013; 27: 1089.1. [5.70]

インパクトファクターの小計

[11.40]

（５）症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Miura K, Teruya C, Hatsuko N, Ogura H: Autoantibody with cross-reactivity between insulin and ductal cells may cause diabetic mastopathy: a case study. Case Reports in Medicine, 2012; Article ID 569040.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Tajiri T, Tate G, Masunaga A, Miura K, Masuda S, Kunimura T, Mitsuya T, Morohoshi T: Autopsy cases of fulminant bacterial infection in adults: clinical onset depends on the virulence of bacteria

and patient immune status、Journal of Infection and Chemotherapy, 2012; 18:657-645. [1.55]

インパクトファクターの小計

[1.55]

5 医学研究費取得状況

	平成 25 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	1 件	(170 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	1 件	(50 万円)
(6) 奨学寄附金その他 (民間より)	0 件	(0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

三浦克敏 (代表者) 基盤研究 (C) 超音波顕微鏡画像の感度と特異性を向上させる方法の開発
平成 24 年度～平成 26 年度、平成 25 年度 : 170 万円 (継続)

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

三浦克敏 (代表者) 独立行政法人 科学技術振興機構 ひらめきときめきサイエンス ようこそ大学の研究室へ 体のしくみを自分の眼で確かめよう 平成 25 年度 50 万円

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	2 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	3 件
(6) 一般演題発表数	4 件	

(1) 国際学会等開催・参加

5) 一般発表

ポスター発表

1. Miura K, Yamamoto S: Scanning acoustic microscopy for characterization of gastric lesions, Experimental Biology 2013, Boston, USA, 20-24 Apr., 2013.

2. Watanabe Y, Kimura J: The inhibitory effect of cibenzoline on Na/Ca exchange current in cardiac myocytes. Experimental Biology 2013, Boston, USA, 20-24 Apr., 2013.

3. Miura K: Histological evaluation of thyroid lesions by a scanning acoustic microscope, The 8th Asia Pacific IAP Congress, Busan, Korea, Sept., 2013.
4. Matsui Y, Shimatani M, Kuzuhara K, Miyazaki Y, Horiuchi T, Tajima Y, Yano K, Nagata T: A prospective and observational study of central venous catheter-associated infection for three consecutive years in an acute period 600-bed Japanese hospital. APIC (Association for Professionals in Infection Control and Epidemiology) 40th Annual Conference, Ft. Lauderdale, USA, 8-10 June, 2013.

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

三浦克敏、組織の固定、分解、化学修飾による超音波顕微鏡像の変化、第3回バイオ超音波研究会、2013年11月、仙台

3) シンポジウム発表

4) 座長をした学会名

三浦克敏：第43回静岡県神経病理懇談会、2013年9月、浜松

三浦克敏：第44回静岡県神経病理懇談会、2014年1月、浜松

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

渡邊泰秀：日本薬理学会評議員

三浦克敏：日本病理学会評議員

三浦克敏：日本臨床細胞学会静岡県支部理事

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	3 件

(2) 外国の学術雑誌の編集：

1. 永田、Journal of Vaccine and Vaccination（米国）、Editorial Board
2. 永田、Results in Immunology（米国）、Editorial Board
3. 永田、World Journal of Immunology（中国）、Editorial Board

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー（reviewer）

1. 永田、1件、Microbiology and Immunology（日本）
2. 永田、1件、Vaccines（スイス）
3. 永田、1件、PLoS One（米国）
4. 永田、1件、Cancer Letters（英国）
5. 永田、3件、World Journal of Immunology（中国）
6. 永田、3件、World Journal of Gastroenterology（中国）
7. 渡邊、2件 Journal of Pharmacological Sciences（日本）

9 共同研究の実施状況

	平成 25 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	1 件
(3) 学内共同研究	3 件

(2) 国内共同研究

1. 福島県立医科大学薬理学講座および福岡大学医学部薬理学講座と「Na/Ca 交換輸送体と心筋保護作用を有する薬物との関係」をテーマに共同研究を行なっている。(渡邊泰秀)

(3) 学内共同研究

1. 感染症学講座（感染制御学分野）と「結核菌の細胞内寄生メカニズム」をテーマに共同研究をしている。(菅谷圭子、永田 年)
2. メディカルフォトンクス研究センター（イノベーション光医学研究室）と超音波顕微鏡の臨床応用とテラヘルツ波の顕微鏡観察応用について共同研究を行なっている。(三浦克敏)
3. 臨床薬理学講座と「Na/Ca 交換体と心筋保護薬との関係」をテーマに共同研究を行なっている。(渡邊泰秀)

10 産学共同研究

	平成 25 年度
産学共同研究	1 件

1. キヤノン（東京）とテラヘルツ波について共同研究を行っている。(三浦克敏)